

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		「紙芝居がやってくる」実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	課長名 西川 正則	
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 松岡 将司	
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供			所属班	図書館班	(内線) 2512	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	図書館法	成果優先度評価結果	2
	1	10	5	8	10782			コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度)		期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	屋外で昔ながらの紙芝居公演を春休み期間中と秋の読書週間期間中計2回実施する ・平成18年度より、読書週間および春休み中の図書館行事として開始した。
【業務の流れ】	ボランティアの方に依頼し、市民や図書館利用者へ公演の周知をする。ボランティアの方と打ち合わせをし、演目・当日の進行などを打ち合わせ、実施する。
【主な予算費目】	報酬費、謝金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・楽しかった、懐かしかったという声を聞いた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・10月の読書週間期間中と3月の春休み中にボランティアの方に来てもらい、紙芝居の公演をした。時間は各1時間ずつで、両日も天気良かったため、図書館周辺の屋外で実施した。	21年度と同様10月と3月の2回実施予定
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
⇒ ア 開催回数	回 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
・図書館利用者の小学生以下の子どもとその保護者	⇒ ア 開催日の図書館来館者数 人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・昔ながらの移動紙芝居の公演を行うことで、子どもたちにおはなしの楽しさを知ってもらう。	⇒ ア 参加者数 人
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回		2	2	2	2	2	2	
	イ								
⑤ 対象指標	ア 人		618	603	650	450	600	650	
	イ								
⑥ 成果指標	ア 人		193	242	200	99	200	200	
	イ								
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				3	3	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	4	1	7	8	7	7
	(A) 事業費計	千円	4	1	7	11	10	7	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2
延べ業務時間		時間	8	8	8	24	8	8	
(B)人件費計		千円	32	32	32	96	32	32	
トータルコスト(A)+(B)		千円	36	33	39	107	42	39	0

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0
	0

事務事業名	「紙芝居がやってくる」実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	振替休日である月曜日に実施したので、来館者も少なく参加者も伸びなかった。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	来館者の多い土・日曜日のどちらかで実施する。		
効率性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	・紙芝居開催の周知の仕方をもっと徹底すれば参加者数を増やすことができると考える。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	市内にはおはなしボランティアの方があちこちで紙芝居yaおはなしをしている。連携は可能		
役割分担評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	1回の公演につき1000円の図書カードを謝金として渡しているだけなので、削減余地はない。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	実際用具の準備やおはなし自体はボランティアの方にさせていただくので、正職員はほとんど手を掛けていない		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	低予算で多くの子どもたちにお話をしている。公正である		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策